

# 視 察 報 告 書

報告者氏名：小室卓重

委員会名：総務常任委員会

期 間：2018年10月23日（火）～25日（木）

視察都市等及び視察項目：

- 千葉県鎌ケ谷市 「日本ハムファイターズ2軍と地元地域・自治体との連携について」
- 三重県桑名市 「公民連携の取り組みについて」
- 愛知県豊田市 「スマートコミュニティの推進（とよたエコフルタウン）について」
- 愛知県岡崎市 「中小企業・起業家の支援施設（岡崎ビジネスサポートセンター）について」

所 感 等：

## 千葉県鎌ケ谷市「日本ハムファイターズ2軍と地元地域・自治体との連携について」

鎌ケ谷スタジアムは1997年に開設された日本ハムファイターズ2軍の本拠地で、日本ハム株式会社の所有。スタジアムまで歩いて行ける最寄り駅はないが、視察当日は雨模様にもかかわらず、熱心なファンの方々が選手を一目見ようと来場していました。

野球観戦以外でも、地域の方々に来場してもらえるよう、スタジアム外周部分に、壁打ちスペース、屋外健康器具コーナー、畑、プール（夏期のみ）などを設置しています。

Fan's Loungeには子どもが遊べるコーナーや、授乳やオムツ替えについての案内もありました。

市民が日常的に寄ることのできる立地とは言い難いと思われる中、市と球団の協働事業として「鎌ケ谷デー」「鎌ケ谷ランフェスタ」「野球教室」などを実施し、多くの市民の参加を得ています。

地元商店街に資するものがあるのかは気になるところですが、そちらは商工会が行っているとのことでした。鎌ケ谷市商工会のホームページによると、鎌ケ谷市商店会連合会デーでは、カビーお誕生日会（カビー

は、ファーム専属マスコット) を行ったり、商店会会員がブース出店をしています。実際の店舗への誘導となれば、商店街にも資するものとなりそうです。

横須賀市では、追浜に DeNA ベイスターズの 2 軍本拠地を建設中です。市の所有で、球団との賃貸契約とするものです。20 年もの間、市民に愛されてきた鎌ヶ谷スタジアムのように、横須賀でも、球団と商店街と市の協力で、地域の活性化につなげていくことが期待されます。

### 三重県桑名市「公民連携の取り組みについて」

桑名市の公民連携は、SSS (Small Success Story) が特徴です。小さな成功 (Small Success) を積み重ねて大きな成果を目指す手法です。

市長公室に公民連携推進係を置き、「小さな公民連携」を進め、公民連携対話の場『コラボ・ラボ桑名』の創出につなげました。

『コラボ・ラボ桑名』は民間事業者等と市役所が専門家アドバイザーの助言を得ながら対話で提案を実現していく仕組みです。提案は 24 時間 365 日。土地区画整理事業では市直営より約 33,500,000 円の経費削減、1 日 10 人しか利用がなく休館となっていた情報交流施設は 100 人～200 人が訪れる場所へ生まれ変わるなど、取り組みは多岐にわたっています。

私は、自らの子育てでの様々な気付きから、子育て・子育てに関わる市民活動や市民事業を行ってきましたが、それらは行政と連携することでより多くの人に対して効果的です。

暮らしの周りに公民連携事例が広がることで、市民の市政への関心も高まります。住み続けたいまちとなる仕組みだと思います。

### 愛知県豊田市「スマートコミュニティの推進について」

低炭素社会の実現に向けチャレンジする「環境モデル都市」として国から選定された豊田市では、二酸化炭素削減目標を 2050 年には必達 50% (1990 年度比) としており、スマートハウスの普及促進、公共交通ネットワークの整備、環境に配慮した産業の育成、100 年先に向けた森づくりなど、実現に向けた取り組みを進めています。

そんな近未来のモデルタウンとしての「とよたエコフルタウン」を視察しました。タウン内は、スマートハウス、自動バレー駐車システム、水素ステーション、ソーラー充電式 LED 街灯など、約 20 社の企業の出展により構成されています。官民が協力して低炭素な豊田市を作っていること、また、市民に対してもスマートハウス減税やエ

ポイント、エコフルタウンなど、低炭素社会に向けての扉が開かれており、自分のできるエコな取り組みがわかりやすいと思いました。

### **愛知県岡崎市「中小企業・起業家の支援施設（岡崎ビジネスサポートセンター）について」**

岡崎ビジネスサポートセンター（Oka-Biz／オカビズ）は、岡崎市と岡崎商工会議所による「小さな企業の応援団」です。目的は、売上アップで、個別相談とセミナーを行っています。相談員は、中小企業診断士や地元の信用金庫職員などで、さらに、中小企業があまり得意としないIT／デザインアドバイザーもいます。スタッフの平均年齢は 37.7 歳と若く、いわゆる業界の常識にとらわれないことも特徴の一つです。

老舗の和菓子屋さんから新たなヒット商品が出たり、主婦のアイデアが商品化したりすることは、誰にでもビジネスチャンスはあるのだとの成功例となり、まちが元気になると思いました。

Oka-Biz は、岡崎市図書館交流プラザという図書館を核とした複合施設内の、市民活動サポートセンター隣のオープンスペースにあります。

私は、市民事業と社会運動を両輪とするワーカーズ・コレクティブで活動してきたことから、ビジネスサポートセンターと市民活動サポートセンターがオープンスペースで隣り合っていることには大いに納得し、将来的な市民事業支援への広がり可能性があるのではと思いました。企業は規模にかかわらず、できる社会貢献を求められますし、一方、市民活動はその基盤の安定化のために事業を行うことがあります。どちらの側面からも、私にとっては、中小企業支援と市民活動支援の連携について興味をそそるものとなりました。